

10 年間の手湿疹と顔面症状を経て素手で調理できるようになった成人アトピーの経過 (33 歳 女性)

症例 ID：001-30-THr | 記録日：2000 年 3 月 15 日

1. 診断・治療前経過

小学生頃から口唇や胸部に一時的な発疹があり、高校期に口唇症状へ外用薬を使用しました。就職後は指先の水疱、ひび割れ、強いかゆみが続き、主婦湿疹として約 10 年間治療を受けました。

顔と首にも症状が広がり、松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	口唇、手指、顔、首の症状に外用薬を使用し、かゆみ止めや抗アレルギー薬も服用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	高校期から 30 歳代前半まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
受診前約 10 年間	手湿疹	指先の水疱、ひび割れ、かゆみに対する治療を続けました。
治療開始 2～3 日	初期変化	顔が赤く腫れ、煎じ薬と漢方入浴を続けました。
約 3 週間	顔面ピーク	顔が大きく腫れ、皮膚が剥ける状態となりました。
治療 1～4 か月	手症状ピーク	手が赤く腫れ、強いかゆみと落屑が約 3 か月続きました。
治療 10 か月	経過後	顔の外見はほとんど気にならず、体のかゆみも減りました。手指のひび割れはなくなりました。
その後	生活変化	素手でおむすびを作れるようになり、通院を終了しました。

4. ピーク時期

ピークは治療開始後約 3 週間の顔面腫脹と、その後約 3 か月続いた手の強いかゆみ、腫れ、落屑の時期です。

5. 困りごと

- 顔面の外見が大きく変化し、心理的負担がありました。
- 手湿疹により調理や家事へ支障がありました。

6. 経過のまとめ

治療 10 か月後には顔の外見と体のかゆみがほとんど気にならなくなり、手指のひび割れもみられなくなりました。素手で調理できる生活となり、その後は通院を必要としなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。